

平成28年度事務事業評価表 (一般用)

①事務事業名

事業コード081201

介護予防事業

担当部課

部課コード081200

Tel04-2991-1813

健康づくり支援課

グループ健康づくり第2G

開始年度平成18年度

年度→

終了年度年度

②事業の概要

事業の種類

☒ 自治事務

☐ 法定受託事務

☐ 法定受託＋附加

根拠法令

分野別計画・指針

高齢者福祉計画、健康日本21所沢市計画

介護保険法

関連・類似事業

健康教育事業、健康相談事業、機能訓練事業、訪問指導事業、成人歯科健康教育・相談事業

総合計画の体系

章健康・福祉

節社会保障

基本方針

介護保険制度の充実

事業開始の背景

平成18年度の介護保険法の改正に伴い、従来、65歳以上の高齢者を対象に老人保健事業として実施してきた健康教育、健康相談、機能訓練、訪問指導の4事業については、地域支援事業の介護予防事業に位置付けて実施することとなった。

③事業の内容

目的 (どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)

高齢者が健康で生き生きと、地域で自立した生活を継続できるよう、脳血管疾患等の後遺症による閉じこもり予防 (機能訓練事業)、栄養状態の改善・健康の維持向上 (高齢者栄養教室)、健全な口腔機能と良好な口腔衛生状態を保つ (高齢者歯科健康講座) ことを目的にしている。

対象 (誰を、何を対象としているのか)

主に65歳以上的高齢者

対象数

単位

平成26年度

80,017

人

平成27年度

83,420

人

事業の具体的な内容及び実施方法

(機能訓練事業) 各月1回実施

●地域リハビリ交流会…当事者・家族・ボランティア・地域住民が、リハビリ体操や月毎のプログラムを通して交流 (まちづくりセンター4か所)。

●失語症者のつどい…言語聴覚士のリードで、当事者とボランティアがコミュニケーションを中心に交流 (保健センター)。

(高齢者栄養健康教室) ①優しい健康食教室 (保健センター) …講話・調理実習・食事相談 ②すこやか栄養教室 (老人福祉センター・憩いの家) …講話・調理実習・食事相談 ③男性料理教室 (保健センター) …調理初心者の男性が対象。講話・調理実習 ④地域住民からの依頼健康教育 (高齢者歯科健康講座) 元気歯つらつ教室 (保健センター・2日間1コース年間2回) …講話・健口体操・歯みがき実習・歯科相談

※老人福祉センター利用者を対象にした講話・健康相談、地域包括支援センターや高齢者施設の依頼を受けて健康教育等も随時、実施。

④経費

＜会計種別＞

特別会計

平成26年度 (千円)

平成27年度 (千円)

平成28年度 (千円)

予算現額

9,172

9,096

9,036

決算 (見込み含む)

7,658

7,757

(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)

(人) (2.00人) (人) (2.00人)

正規職員人件費

1.83人

15,959

2.04人

17,666

事業費合計

23,617

25,423

財源内訳

一般財源

16,232

24,781

9,036

国・県支出金

3,189

その他

4,196

642

※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑤実績

項目名

項目説明

単位

H26

H27

H28見込み

将来目標

活動実績

機能訓練
地域リハビリ交流会/ 失

延べ参加者数 (本人)

人

870

764

780

1,000

高齢者歯科健康講座等

延べ参加者数 (本人)

人

571

500

600

850

高齢者栄養教室等

延べ参加者数 (本人)

人

1,469

1,298

1,350

1,400

⑥成果

項目名

項目説明

単位

H26

H27

H28目標値

将来目標

成果指標

事業への参加者増加率

当該年度延べ参加者数÷前年度延べ参加者数

%

目標値

110

110

110

110

実績

89

88

☒ 「実績」拡大図 ☐ 「実績」縮小図

目標達成状況

どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています

%

達成率

81

80

↑どちらかをチェックしてください

⑦改善点

(1)平成27年度中に改善した点 (改善内容・その結果について記載してください)

参加者拡大のため、地域包括支援センターや高齢者施設等からの依頼を積極的に受け入れるよう努めた。栄養士・歯科衛生士が連携した教育事業を行うことにより、市民が参加しやすくなるように努めた。また地域リハビリ交流会ではメンバーや家族、ボランティアとともに高齢化が進む中で、参加者全員に対する介護予防・健康づくりに関するアプローチを引き続き実施した。活動はなるべく参加者の希望を取り入れ、その地域ならではのものとなるよう心がけている。失語症者のつどいでは、つどいの開始前に「おしゃべりコーナー」を継続し、メンバーやボランティアの交流を図っている。

(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析

地域リハビリ交流会は、障害を持つ人の社会参加の機会、地域住民にとっては障害者と共に生活する地域について学ぶ機会として貴重な事業であるが、障害者にとっては自己通所であり、本人・家族が参加の意義を認識していく必要がある。職員が本人・家族にその意味を伝え、障害者が関わる関係機関の理解を進めることが更に必要である。栄養・歯科については、依頼教育の件数が見込みに比べて少なかったため、未達成となった。対応としては、周知を増やすなどして、依頼の件数増加に努める。

⑧評価

評価

☒ 継続

☐ 終了

方向性の

事業実施方法 (複数選択可)

☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 改善・効率化 ☐ 現状維持 ☐ その他

理由

高齢者の要介護状態を予防していくためにも、各事業の必要性は高い。今後、本事業の利用者の増加に向けて、高齢者がより身近で参加しやすく、理解しやすいものとなるよう、改善・効率化を図っていく必要はある。

次年度予算

☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持

理由

今後高齢者がさらに増えていく中で、高齢者の要介護状態を未然に防いでいくためにも、本事業の必要性は高いため。

⑨価値

(1)平成28年度に取り組んでいる状況

障害を持つ人の閉じこもり予防・社会参加の推進・地域住民の学びの場として、参加者の関心のある事項をテーマに事業に取り組んでいる。介護保険法の改正にあたり本事業の目的や位置づけ・方針等を明確化させていく必要がある。

(2)今後の方向性

今後、高齢化がさらに進むことが予想されるため、高齢者支援課・地域包括支援センターなどの関係機関と、より一層の連携を図りながら、栄養及び歯科分野などでの介護予防事業について、高齢者が要介護状態に至らないような支援を強化させていく必要がある。

評価日

H28.8.12

評価者職氏名

健康づくり支援課 課長 洲江 弘行

⑩環境影響

有益な環境影響

有害な環境影響を及ぼす原因活動

文書の作成

規制を受ける環境法令等

緊急事態

無

無